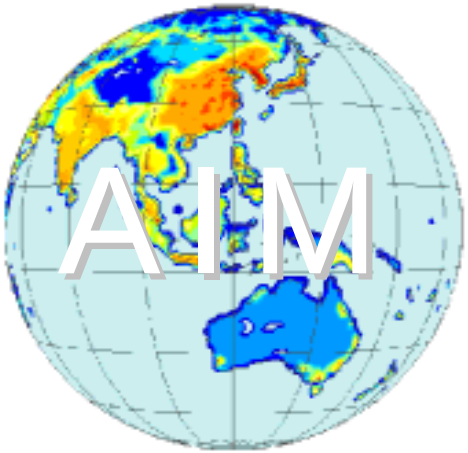
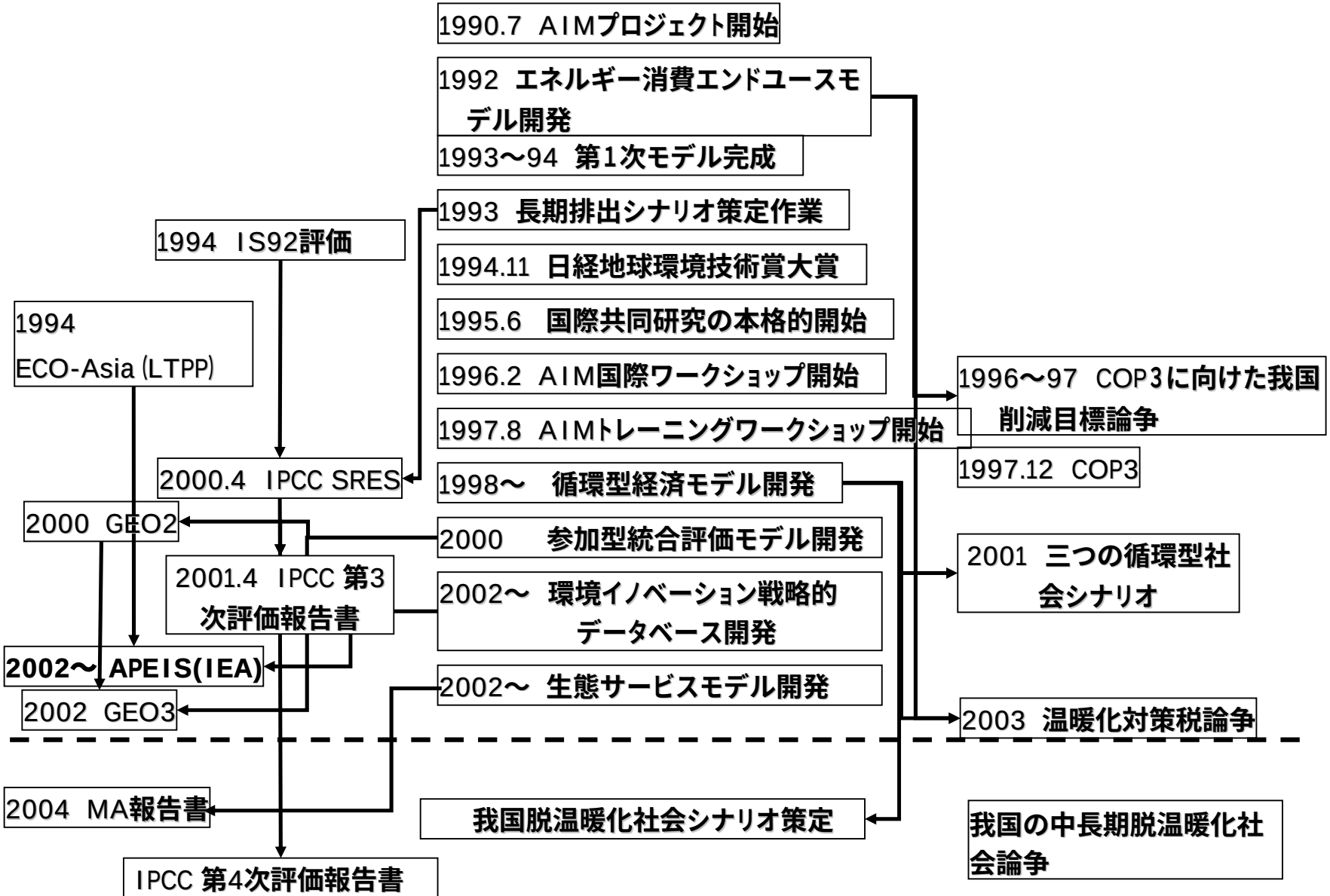


AIMモデルの展開

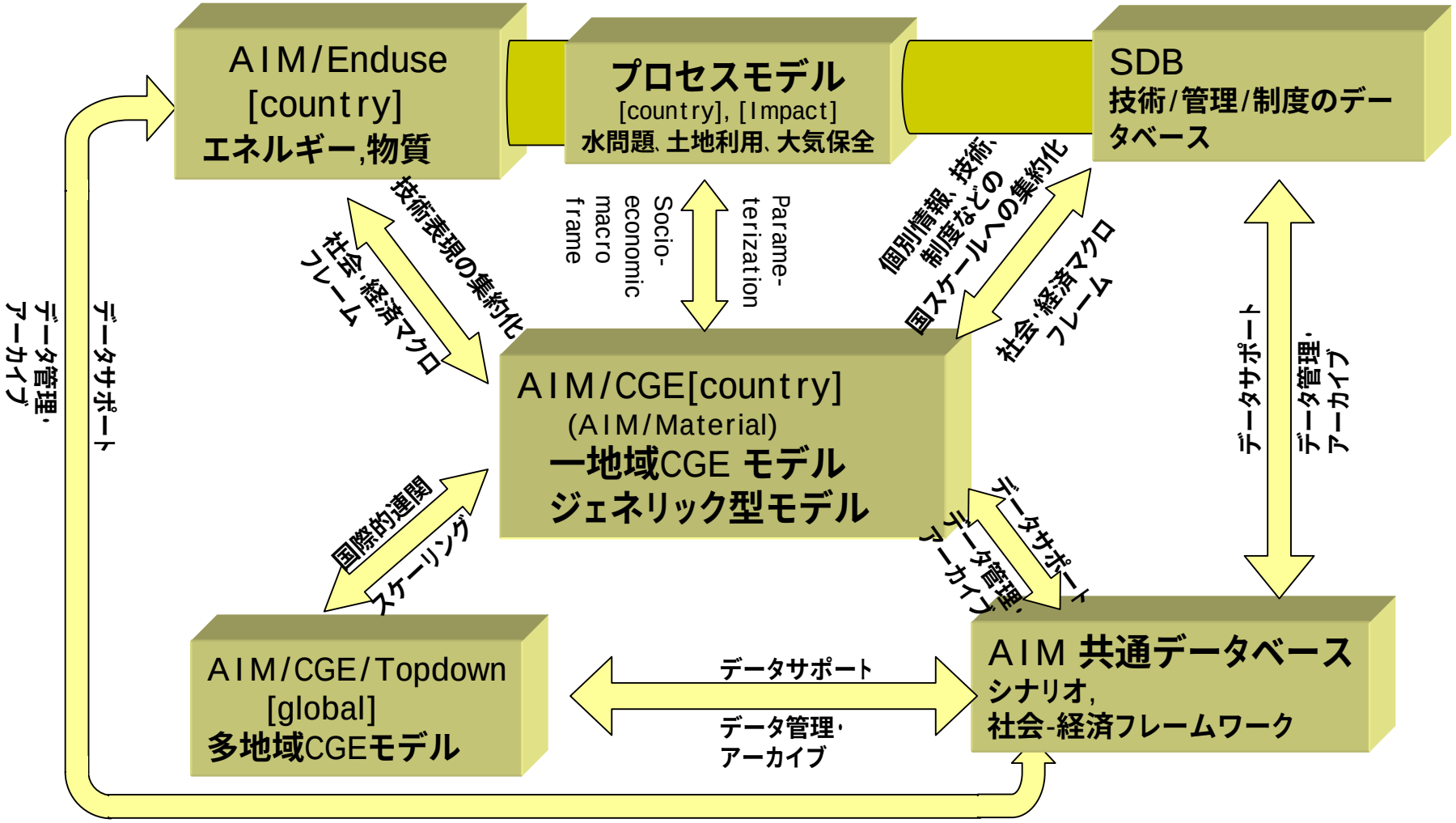
社会環境システム研究領域特別セミナー
2004年10月8日

京都大学大学院教授
地球環境学堂地球益学廊
環境統合評価モデル分野
松岡　譲

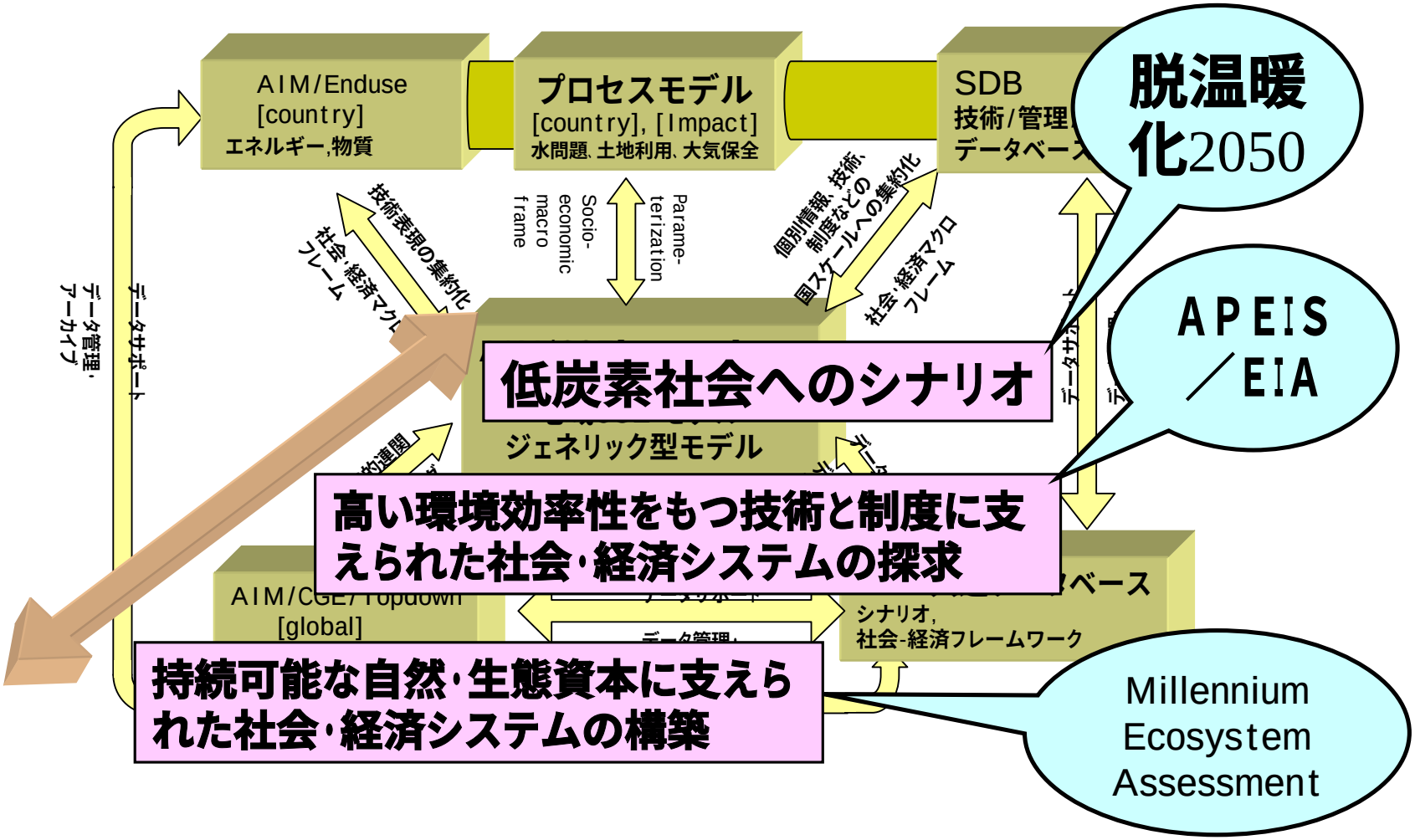
AIMモデルの歴史と展開



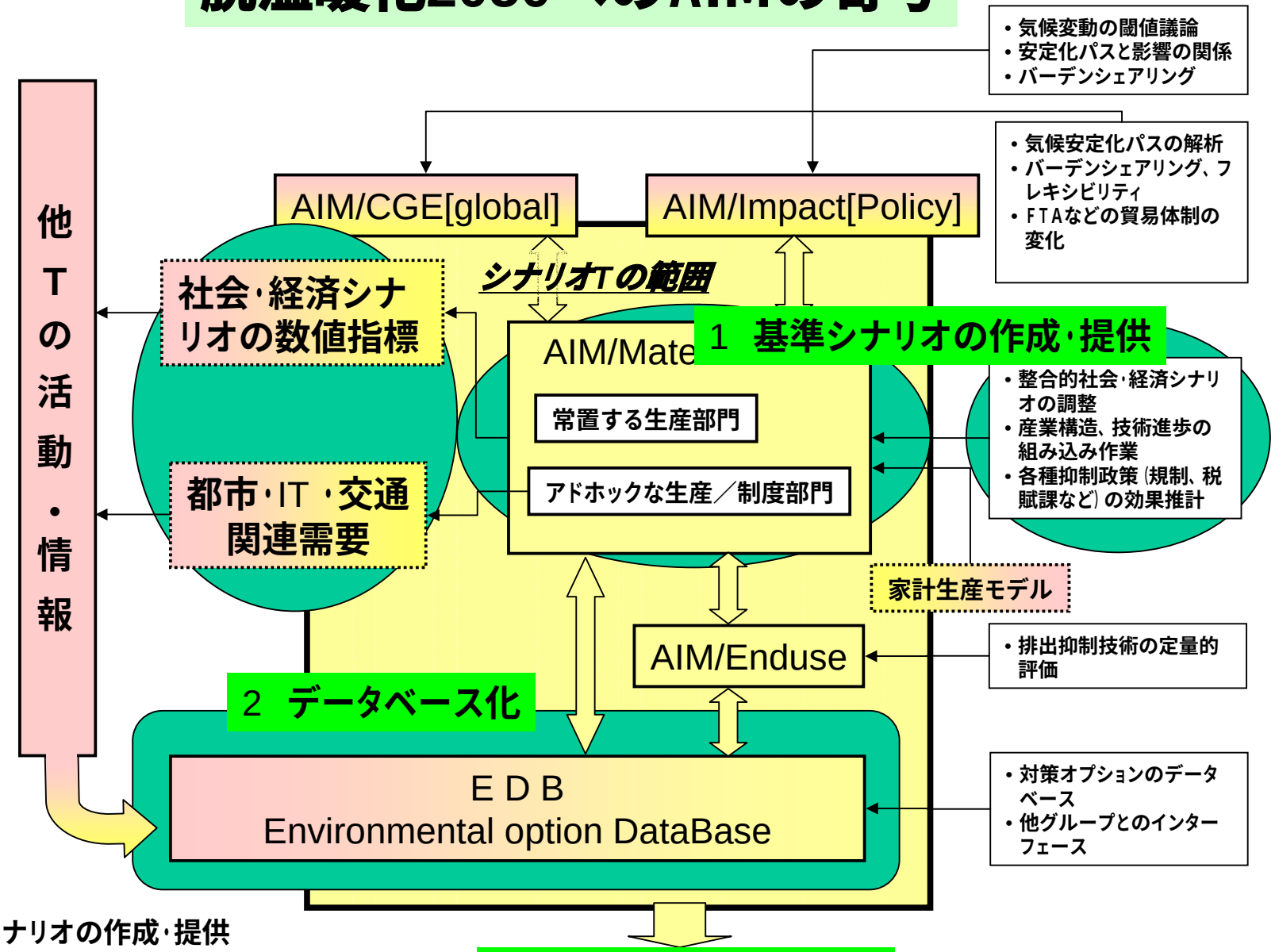
AIMモデル群の構成


AIM/Enduse
[country]
エネルギー,物質
プロセスモデル
[country], [Impact]
水問題、土地利用、大気保全
SDB
技術/管理/制度のデータベース
技術表現の集約化
社会・経済マクロフレーム
Socio-economic macro frame
Parame-terization
個別情報、技術、制度などの国スケールへの集約化
社会・経済マクロフレーム
データサポート
データ管理・アーカイブ
データサポート
データ管理・アーカイブ
AIM/CGE[country]
(AIM/Material)
一地域CGE モデル
ジェネリック型モデル
国際的連関
スケーリング
データサポート
データ管理・アーカイブ
AIM/CGE/Topdown
[global]
多地域CGEモデル
データサポート
データ管理・アーカイブ
AIM 共通データベース
シナリオ,
社会-経済フレームワーク

AIMの実際課題への適用

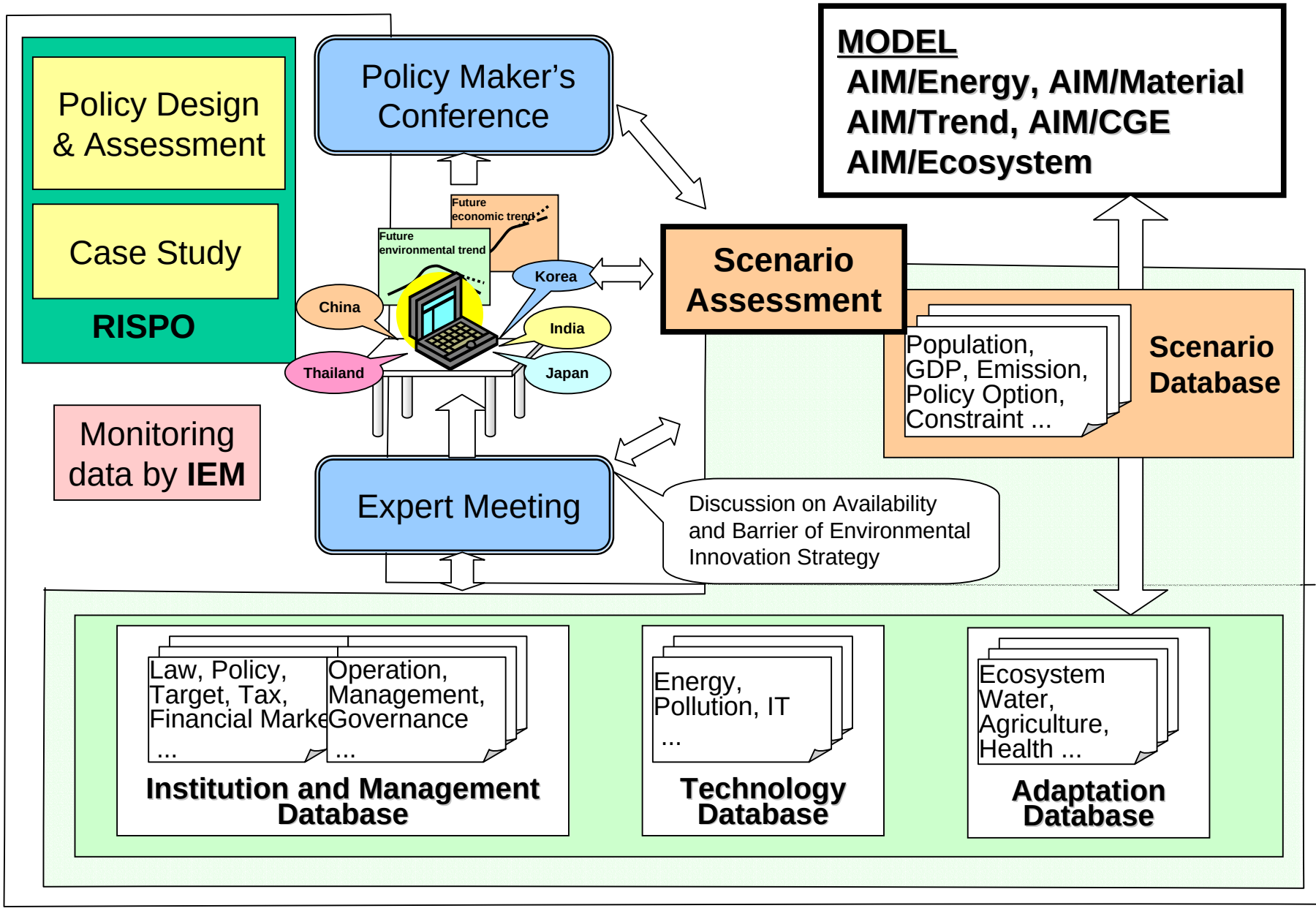


脱温暖化2050へのAIMの寄与

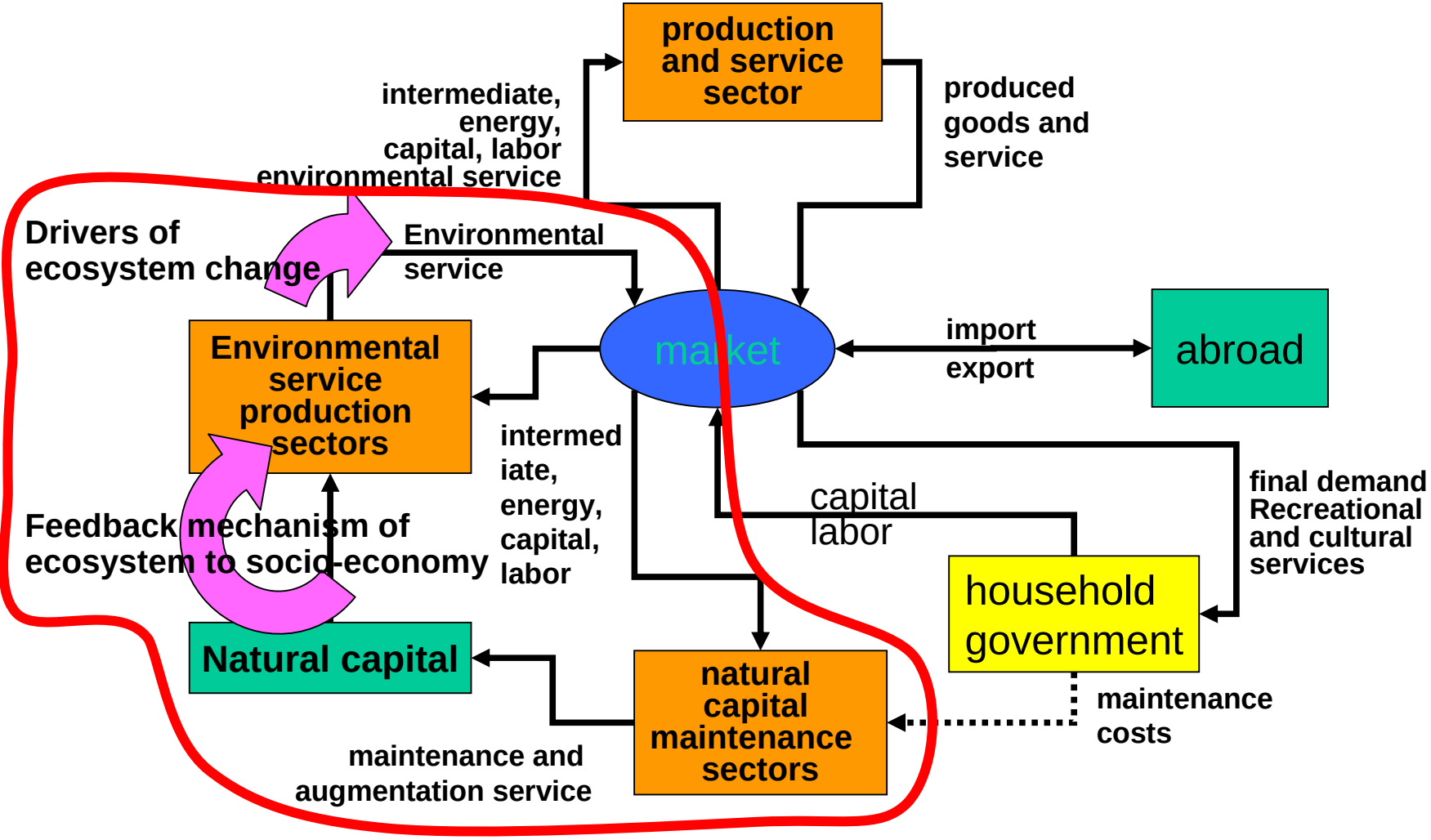


基準シナリオの作成・提供
技術・制度・行動オプションのデータベース化
脱温暖化シナリオ構築

Outline of Strategic Database



AIM/Ecosystem



AIMの展望

21世紀のアジア･太平洋地域における持続可能な環境保全に向けて;

1．三つの空間スケールと三つの時間スケールにまたがって
1) 世界/国/サブ･ナショナル及び流域,
2) 2020年 /2050年/2100年以降

2．三つの要素をめぐり;
1)温室効果ガス･エネルギー，2) 物質，3) 水資源と土地資源

3．三つの重点テーマとそれに向けての将来シナリオの構築;
1) 低炭素社会，2) 高い環境効率性をもつ技術と制度，3) 持続的な環境資源の利用とその普及

4．環境統合評価作業のプラットホームに。